

第17回 雨情の里 港まつり



2005年11月13日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
お問合せは上記へ

11月6日、「雨情の里港まつり」が大津港で開かれました。市内最大のイベントの一つとしてすっかり定着し、今年も市内外からたくさんの方々が参加されました。

恒例となっているアンコウ鍋の試食には、これを楽しみに参加するという人もいます。恒例となつて長い行列が目立っていたのが「花園牛」。そのブランド名も定着してきて、プレゼントのクジ引きに親子連れなどが並んでいました。メインステージに向かう



ようにして連なつた市内各グループのテントでは、バザーや手作り品の販売があり、市民の交流の場となりました。

さらに地元の農水産物や加工品の販売など、地場産業をアピールする機会でもあります。これが日常的な販売活動にまでつながっていくよう関係者の皆さんとともに期待したいものです。



花園溪谷の紅葉狩り

すでに立冬を迎えましたが、ようやく花園溪谷の紅葉が見頃となっています。花園川ぞいの道には他県ナ



ンバーの車も目立ち、平日でも三脚を立ててカメラをかまえる人の姿がそこそこあります。緑色のままの杉とのコントラストも鮮やかに、赤や黄色の葉が風にゆれ、そして陽に輝いています。

山ふもとから花園モール周辺は、これからが色づきの本番です。そして亀谷地あたりまで山を登ると、すでに葉を落とした樹も目立ちますが、そのおかげで林の中のほうまで見通すこと

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

ができ、すっきりした木立の中にひとときわ鮮やかな紅葉。思わず立ち止まって見入ってしまいます。小川地区の先は、福島県塙町です。廃校となった那倉小学校の校舎を活用して「あぶくま高原美術館」が今年4月にオープンしています。足を伸ばしてみてください。



廃校を活用した「あぶくま高原美術館」

患者・国民負担増の小泉流「医療改革」はゴメンです。

どうなる？ これからの医療

(学習会のお知らせ)

11月20日(日曜)
14時~16時

日立シビックセンター
4階・401号室

講師：茨城保健生協から

くわしくは、
日本共産党日立市議団
0294(53)8501

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>
編集部では身近な情報をお待ちしています。